

美しい阿蘇市を象徴する木・花・鳥が決まりました。

市の木

ミヤマキリシマ

ミヤマキリシマは、仙酔峡、高岳、阿蘇山上一帯に大群落をなして自生しており、5月に紅紫色の花を咲かせ、毎年、多くの市民や観光客で賑わっています。古文書にも記述があり、昔から住民に親しまれてきました。

花としての応募・意見もありましたが、分類上は木であるため、阿蘇市の木に選定しました。(ツツジ科・半落葉低木)



阿蘇市シンボル等制定委員会福島鐵治委員長、ほか23人を開催し、応募総数114点の中から、市への愛着と誇りを育み、市のイメージを内外に伝えるのにふさわしい「市木」「市花」「市鳥」が次のとおり決定しました。
たくさんのご応募ありがとうございました。

市の花

リンドウ

阿蘇の風物詩として、毎年3月に実施される「野焼き」の後の真っ黒な草原に、青紫色の可憐な花を咲かせるハルリンドウは、阿蘇の春を代表する花の一つです。

また、秋には秋咲きのリンドウが草原を彩るため、阿蘇にふさわしい花として阿蘇市の花に選定しました。(リンドウ科)



市の鳥

キジ

キジは、全国に広く分布し1年を通じて同じ地域で生息する留鳥で、日本の国鳥となっています。色鮮やかで優美な姿で知られ、オスは力強くメスは母性愛が強いといわれています。

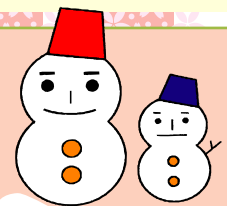
阿蘇では、草原や林の中で1年中姿を見ることができ、童話等を通じて親しみがあり、市民にもよく知られているため阿蘇市の鳥に選定しました。



制定日：平成17年12月9日



孫と いっしょ



川のせせらぎと森林浴豊かな国造神社の近くにお住まいの工藤さんご一家。両親が仕事の間、ここでお孫さんたちを子守りし健やかに育ててこられました。

そんな工藤さんご一家の今年1番の願いは家族の健康。「ひいばあちゃんがこれからも元気で、また、春から1年生の岳瑠が、学校まで遠いですが元気に通学してほしいです」と徹雄さん。今年もたくさんいい思い出が出来そうです。

おじいちゃん工藤徹雄さん、おばあちゃんスミエさん(古城6区)
ひいおばあちゃんミツ子さん、お孫さん岳瑠くん(6歳)、樹希くん(4歳)